

2025年

かわむら小児科

公式 LINE

12月

モ〜モ〜くらぶ



溶連菌感染症について

11月からインフルエンザA型の流行が続いていますが、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症なども出ています。溶連菌はA群β溶血性連鎖球菌という細菌が主としてのどに(時に皮膚に)、つばが飛んだりしてうつる病気です。多くは3歳から9歳ぐらいの子どもがかかる病気ですが、0歳児や大人でもかかることがあります。潜伏期は2〜5日です。以前は“猩紅熱”と呼ばれ恐れられていた病気ですが、最近では症状も軽くなり溶連菌感染症と言われるようになりました。

症状は発熱(出ない場合もあります)、のどの痛み、発疹(3割ぐらいです)、時に腹痛、吐き気などがあり、舌がイチゴのように赤くプツプツ(イチゴ舌)となることもあります。抗生剤(ペニシリン系、セフェム系)がよく効く菌なので抗生剤を飲んで1日2日たつと熱も下がり症状もやわらぎます。また、抗生剤を飲み始めて24時間たつと、菌は人にうつらない量(10分の1ぐらい)になるので全身状態が良ければ登園登校は可能になります。ただし途中で飲むのをやめてしまうと再発したり、急性腎炎やリウマチ熱を起こすことがあるので、菌が完全に消失するまで抗生剤を10日間飲むのが通常です。当院ではかかってから2週間後ぐらいに腎炎になっていないかどうか検尿します。

また、1回なったら終わりではなく、何回でもかかる病気です。兄弟や親に感染することもあり、そこからまたうつり返すこともありますので、家族でのどの痛みなどがあれば検査をすることをお勧めします。

・・・感染症情報(12月1日現在)・・・

★インフルエンザA型(A香港型)が流行っています。ワクチンは効果があるように思います。今後B型や2009A型が流行ってくる可能性もありますので、かかった人でもワクチンは接種しておいた方がよいと思います。



おうちでできる体調ケア

【咳が出る】

- 鼻水や痰がのどに落ちて出る咳も多いのでこまめに水分をとみましょう
- 背中を優しくトントンすると楽になることがあります
- 乾いた咳にはレモンとはちみつで作ったレモネードやのど飴も効果的です(1歳未満児にははちみつは与えないでください)

【鼻水・鼻づまり】

- 鼻水はこまめに拭き取り、鼻吸い器で吸ってあげましょう
- 鼻づまりが続いたり臭うときは早めに受診しましょう

【熱が高い】

- 寒がっている時は温め、汗が出たら首や足の付け根を冷やしましょう
- こまめに水分補給をしましょう
- 熱が38.5℃以上でしんどそうであれば解熱剤を使いましょう

【下痢・嘔吐の時】

- 脱水に注意して経口補水液を少しずつ何回にも分けて飲ませましょう
- 食欲があれば刺激の少ない消化のよいものを少しずつ
- 牛乳や果汁ジュースは控えめに
- ノロウイルスが疑われる時は汚物処理にも注意しましょう

無理せず気になる時は早めに受診しましょう

(ホットケーキ)

年末年始 休診のお知らせ

12/30(火)午後〜1/3(土) 休診

1/5(月)から通常どおり